

事務事業名	「菅谷たたら山内」活用事業補助金事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興G	課長名	白神大三
施策名		(29) 地域文化の振興	担当者名	堀江篤史	電話番号(内線)	0854-40-1300
基本事業名	(086) 地域文化の理解促進	予算科目	会計	款	項	目
			01	510	25	35
					中事業	
						「菅谷たたら山内」活用事業補助金事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(23年度~27年度)	「菅谷たたら山内」の活用を図り交流人口の拡大につなげるため、公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団が行う活用事業に対する補助金交付事業。	平成23年度より雲南ブランド化プロジェクト事業の一環として実施。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	補助金 6,400千円	事業費	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円			6,400	6,400	6,400	32,000	
			その他	千円							
			一般財源	千円			0	0	0		
			事業費計(A)	千円	0	0	6,400	6,400	6,400	32,000	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	① 補助金交付業務 ② 要綱策定業務	人件費	正規職員従事人数	人			2				
			延べ業務時間	時間			24				
			人件費計(B)	千円	0	0	95	0	0		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	6,495	6,400	6,400		

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		① 補助金交付業務 ② 要綱策定業務	ア 補助金交付事業	件			1	1	1	
		24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
		① 補助金交付業務	ウ							
			エ							
			オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	① 市民 ② 市外の人	ア 雲南市人口	人	42,428	41,927	41,899	41,454	40,999	
		イ 市外人口	千人	127,352	127,134	126,871	126,564	126,213	
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標	ア 「菅谷たたら山内」見学者数	人	3,368	3,290	3,306	3,500	3,700
	「菅谷たたら山内」への見学者の増大により、交流人口の拡大、地域の活性化が図られる。	イ イベント	件			5	7	10	
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標	ア 歴史遺産や地域文化に関心を持っている市民の割合	%	60.4	59.5	57.3		
	地域の伝統文化や歴史遺産に関心を持ち、郷土への誇りと愛着の心を培うとともに、次世代に伝えていく。	イ 過去1年間に遺産や文化財、地域文化を見たり、触れたりした市民の割合	%	42.9	50.7	44.3			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成23年度新規事業	特になし	「菅谷たたら山内」の保存修理事業着手に併せてさらなる活用が期待されている。

事務事業名	「菅谷たたら山内」活用事業補助金事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 雲南ブランド化プロジェクトにおける交流人口の拡大に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 文化財の活用は行政の務めである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業の対象が限定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 「菅谷たたら山内」だけでなく吉田町全域でのたたら製鉄の歴史文化の情報発信を行う必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 充分な活用が図れなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 雲南ブランド化プロジェクトの一環として行われている。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県補助金等も活用した事業費で運営している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金交付事務のみである。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益の対象は全ての市民である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度からの新規事業。交流人口拡大を目的としたイベントも盛況だった。ただし、見学者数はほぼ横ばいであるため、さらなるPR活動が必要だと感じた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 交流人口イベントの拡充と周知強化を行う。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 「菅谷たたら山内」の整備・活用を図る必要がある。																							